

平成 19 年 10 月 3 日

各 位

株式会社イントランス  
代表取締役社長 上島 規男  
(コード番号：3237 東証マザーズ)  
問合せ先：常務取締役兼管理本部長  
兼人事・総務部長 鳥越 憲一  
電話番号：03 - 5778 - 2145 (代表)

### 業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 4 月 27 日の決算発表時に公表いたしました平成 20 年 3 月期 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日) の中間期・通期の業績予想及び期末配当予想について下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

##### 1. 業績予想の修正

###### (1) 中間期 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	7,635	1,050	970	530
今回修正予想 (B)	3,900	430	380	225
増減額 (B-A)	△3,735	△620	△590	△305
増減率 (%)	△48.9	△59.0	△60.8	△57.5

###### (2) 通期 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	16,440	2,010	1,720	940
今回修正予想 (B)	14,600	970	800	450
増減額 (B-A)	△1,840	△1,040	△920	△490
増減率 (%)	△11.2	△51.7	△53.5	△52.1

### (3) 業績予想修正の理由

当社の主業であるプリンシパルインベストメント事業では、当中間期までに売却する予定の販売用不動産を平成 19 年 3 月期末までに仕入れ、今期より新たに不動産ファンド事業者向けの営業活動を開始し、販売チャネルの拡大を図ることを一つの方針としてまいりました。

しかしながら、中間期においては、販売候補先である不動産ファンド業者との交渉では、米国のサブプライムローン問題に端を発する金融機関への影響により、販売候補先の資金調達が順調にいかず、また、他の販売候補先では購入希望価格が当社の想定した売却価格に及びませんでした。その結果、当中間期に売却できた物件は（区分所有マンションの売却を含まず）個別売却による 3 物件となり、残りの販売用物件の売却については、第 3 四半期以降に延期せざるを得ない状況となりました。なお、中間期に売却予定であった販売用不動産につきましては、下半期においては当初計画していた利益率での売却が難しいと予想されるため、通期の営業利益、経常利益、当期純利益については売上高に比して減少率が大きくなっております。

以上の理由により、ここに中間期業績予想の修正を行い、また、現状の販売状況や仕入の進捗動向を勘案し、併せて通期業績予想の修正をいたします。

## 2. 配当予想の修正

### (1) 平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）期末配当予想数値の修正

	1 株当たり配当金		
	中間期	期末	年間
前回予想 (平成 19 年 4 月 27 日発表)	－円	1,400 円	1,400 円
今回修正	－円	700 円	700 円
前期（平成 19 年 3 月期）実績	－円	800 円 (普通配当 600 円) (記念配当 200 円)	800 円 (普通配当 600 円) (記念配当 200 円)

### (2) 配当予想修正の理由

平成 20 年 3 月期の期末配当につきましては、1 株当たり 1,400 円の配当を予想しておりましたが、上記のとおり当期の業績予想は下方修正の見込みとなりますので、1 株当たり 700 円といたします。

(注) 上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しておりますので、実際の決算数値とは異なる可能性があることにご留意ください。

以 上